

資料5

電子地域通貨・低炭素モビリティワーキング 活動報告と来年度実施内容

第5回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市環境部庁舎大会議室

平成24年2月22日(水)

1. 来年度事業概要（電子地域通貨）

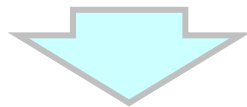
取り組み方針(再掲)

【秋田市での導入における課題・条件】

- ・市事業のポイント付与から、市全域へ展開していく。
- ・地元商業の導入促進のために、安価かつ簡易なインフラ・端末
- ・地元経済循環へ寄与（地域外に資金が流れてしまわないようにする）
- ・将来的に・・・

◎ほっぺちゃんカードとの将来的な融合・統合が円滑に行われることを視野に入れる

◎公共交通のICカードとの連動、低炭素モビリティ事業との連動、民間によるシステム管理・通貨発行業務へ移行することへの対応（地域内で成立するビジネスモデルとする）



【調査内容案】

電子地域通貨導入システム検討調査（仮）

①エコポイントの要件整理

- ・初期段階でのシステム、機器
- ・提供サービスの要件
- ・将来的な公共交通ICカードや低炭素モビリティなど、市全域での利用想定等

②導入可能性のあるシステムの抽出

- ・フェリカ、富士通、QRコード型等事例調査

③システム毎の性能比較検討と評価

- ・事業者ヒアリング、対象システム等の比較検討の実施

④導入に向けた課題整理

【分析・検討イメージ】

	基本機能	必要システム	必要機器	コスト(I/R)	汎用性	発展性
フェリカ	○	△	×	×	○	○
富士通		△	△	△	△	△
QRコード?	△	○	○	○	×	×
.....						

導入可能性のあるシステムの比較検討及び事業化に向けた基礎調査を実施


2. 来年度の検討体制案(電子地域通貨)

現在、いくつかの事業者から、電子地域通貨導入の提案を受けている。
来年度は、これらの事業者からの提案を踏まえつつ、具体化に向けた検討を想定。

【現在提案を受けている事業者】

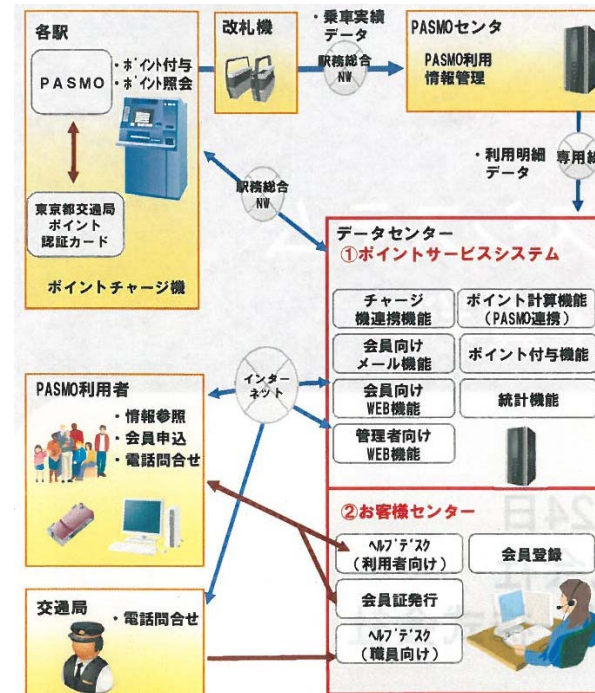
< JCB (クレジットカード等の事業者) >

・環境省と実施していた「エコ・アクションポイント」について、秋田での展開を提案。

	
目的	地球温暖化防止! 私たち消費者が手軽に参加しやすいエコ活動の推進!
対象商品	エコ・アクション・ポイント取扱店で販売提供しているサービス ▽エコ厳選ECモール”エコナミセ”での食品/商品購入 ▽廃食用油の回収 ▽環境配慮に取り組む宿泊施設の利用 ▽ネット銀行 など
会員登録方法	パソコンまたは携帯電話から会員登録(無料)
ポイントのため方	エコ・アクション・ポイント取扱店で販売提供しているサービスを利用したあとに、パソコンまたは携帯電話からポイント登録。
交換方法	パソコンまたは携帯電話から、商品を選択! 後日、指定先の住所にお届け♪
交換商品	▽商品券、お食事券 ▽家電・キッチン用品など一般商品 ▽環境配慮型商品 ▽環境寄附 など
期間	終了予定なし!

< 富士通 (情報システム事業者) >

・地方の公共交通にICカード等の導入を進めており、秋田市でも電子地域通貨と連動したシステムを提案。

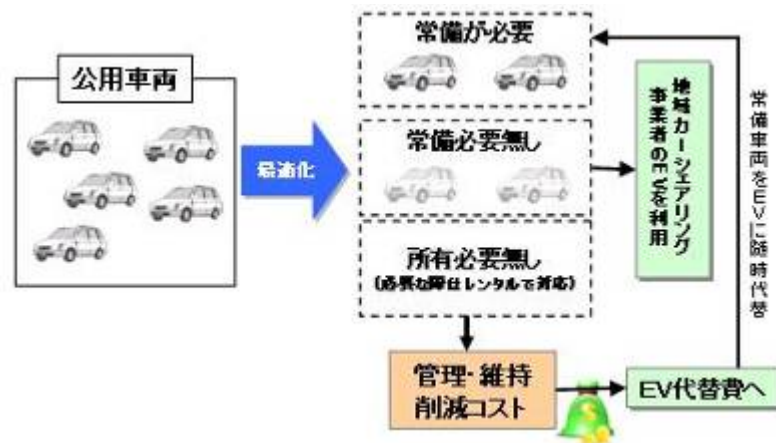


3. 来年度事業概要（低炭素モビリティ）: 公用車の最適化にかかる基礎調査

事業内容(再掲)

公用車両の保有台数の最適化から、車両の削減および低減された管理・維持コストを活用した無理のない低炭素車両（EVなど）導入計画を策定し、市の公用車における二酸化炭素排出量削減にむけた実行計画づくりを進めます。

【公用車の最適化分析からEV導入へのイメージ】



- ① 公用車両の利用状況を分析することで庁内業務に対応できる必要最低限の保有台数(常備が必要な車両)を算出します。
- ② 庁内業務で時々必要となる車両(常備がない車両)については、EVを保有する地域のカーシェアリング事業者等と有償契約を利用します。
- ③ 車両削減による管理・維持削減コストを活用して常備が必要な車両を順次低炭素車両(EVなど)に更新することで二酸化炭素排出量を削減します。

→H24年度は、秋田県の緊急雇用創出事業を活用して、上記の基礎調査・分析業務の実施を想定する。(予算申請中)

4. 来年度事業概要（低炭素モビリティ）:スマートシェア倶楽部組成に向けた取り組み

引き続き、スマートシェア倶楽部組成に向け、地域事業者との協議及び受け皿作りを進めます。

